

VI 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	吉 田 正 昭
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	大 笹 勝 則
委 員	小 川 俊 二
委 員	高 橋 央 樹
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	加 藤 俊 男
委 員	佐 藤 豊

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会（年2回開催6月・11月）
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、図書館長補佐、生涯学習課長補佐

② 会議の運営状況

令和2年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和2年6月 書面会議 (定例会)	【協議事項】 1 令和元年度事業報告について ア 生涯学習課事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 令和2年度事業計画について ア 生涯学習課事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について
開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和2年 11月11日(水) (定例会)	【協議事項】 1 令和2年度事業中間(上半期4月～9月)報告について ア 生涯学習課事業について

	イ 図書館事業について 2 令和3年度事業計画(案)について ア 生涯学習課事業計画(案)について イ 図書館事業計画(案)について
--	---

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催（令和2年度実績）

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
手作り音楽教室	3回	15人	10人
親父の料理教室	4回	各 12～24人	※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として中止
美しいボールペン字・筆ペン字教室	夏期4回 秋期4回	各期 15人	夏期：中止 秋期：16人

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止として、公民館等を休館としたため、実施は難しい状況であった。今後も、状況を把握しながら、町民のニーズに応えられるよう努めたい。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
親と子の料理教室	1回	12組24人	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、全事業を中止	
ちょこっと探検隊	1回	20組40人		
親子キャンプ教室	1回	13家族		

〔点検・評価〕

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、全事業が中止となった。

今後も、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底はもちろんのこと、より安心安全な事業実施を目指していく。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室(工作)	1回	20人	25人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業中止	
木工体験教室	2回	各15人		

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：令和3年1月10日(日) 対象者：394人 参加者：288人

③ 蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をとおし、伝統・文化を学ぶ。

派遣日：令和2年8月19日(水)～21日(金)

募集人員：12人

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

④ 青少年健全育成運動

開催日：令和2年7月21日(火)、令和2年11月25日(水)

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

子ども体験教室は、アルミホイルを用いて、スタンドグラス風の写真立てを作成した。わんぱく料理教室や木工体験教室に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。これからも子どもたちの達成感や探究心を育てていける内容及び教室づくりに努めていく必要がある。

成人式はコロナ禍ということもあり、2部制にして実施した。町外へ転出している方も、手続きを経て当町で出席できるため、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。生涯学習課事業として4年目となる蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業においては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業実施は見送るかたちとなった。実施の際には、読谷村の中学生と蟹江町の中学生が地域伝統

文化を相互に披露し交流をさらに深めたい。さらに民泊の方との交流や、旧海軍指令部豪及び国際通り等を見学し沖縄県の歴史、文化を肌で感じることができる内容としたい。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9部門 45団体 551人 補助金1,092,850円

② 蟹江町婦人会

婦人（女性）の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 16,794世帯 補助金1,289,700円

③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 2,836人 交付金1,309,340円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

・ 開催日 ~~令和2年11月8日(日)~~ 事業中止

・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

○生涯学習文化交流会

蟹江町 蟹江町文化協会 舞踊部門

沖縄県読谷村 儀間自治会座喜味自治会

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

・ 開催日 ~~令和2年11月7日(土)・8日(日)~~ 事業中止

展示の部—1,811人

芸能の部—298人

- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、沖縄県読谷村の芸能団体を招待し開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止として中止となった。

課題としては、若い世代の参加が少ないため、その世代のニーズを把握しながら、どのような内容で実施していくかを考える必要がある。

また、文化祭も中止となってしまったが、令和3年度は工夫して実施していきたい。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数	225日
入館者数	2,320人(401人)
1日当たり	10人

〔点検・評価〕

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～5月、令和3年1月～2月に休館の期間があり、また、開館期間中であっても団体での見学が非常に少なかったため、令和元年度に比べて入館者数が大幅に減少した。ただし、秋の企画展や講座では比較的、充実した参加者があり、資料館の活動を必要としている方も多いことを実感した。

なお、資料館見学の方への新型コロナウイルス感染症対策として、入場者数の制限(40名以内)、ソーシャルディスタンスの目安として1～2mごとに床に赤いテープを貼付、来館者カードへの記入、手指消毒の徹底等を行っている。

今後も感染防止対策をとりながら来館者の期待に応えられるような活動をしたい。

(2) 収集・保管

(ア) 収蔵資料点数 4,351点

① 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

黒川紀章作版画額装	9点
小酒井不木掛軸	2点

(イ) 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料31点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

令和2年度においては、購入資料11点、寄贈資料31点、合計42点の資料を収蔵した。

寄贈資料については、小酒井不木のショートムービー公開などが話題となったため、町内はもとより県外からも小酒井不木の著書を寄贈したいという話を複数いただいた。近年、小酒井不木を再評価しようという動きが町内外であり、当資料館が率先して不木資料を収蔵しているという評価もいただいている。今後も期待に沿えるような活動を行わなくてはならない。

一方で、資料の数は年々増加しており、収容不足となりつつある。この現状をいかに解消するのが課題をなっている。また収蔵資料は保管するだけでなく整理した情報をデータ化し、調査・研究のために活用しやすい状態にしておくことが大切である。資料保存のための周辺設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

ア 特別展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別展は中止した。

イ 企画展

・「水郷を詠む」

展示場所 企画展示室

展示期間 令和2年11月1日(日)～12月13日(日)

来館者数 628人

・「全国ひな巡り」

展示場所 企画展示室

展示期間 令和3年3月4日(木)～3月10日(水) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休館により、2月6日(日)～3月6日(日)開催だった予定を変更)

来館者数 38人

・「季刊あまつしまバックナンバー展」

展示場所 企画展示室

展示期間 令和3年3月13日(土)～3月27日(土)

来館者数 107人

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料などを調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要

な事業の一つである。

しかし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため他機関等からの資料借用や外部調査が必要不可欠である特別展は中止とし、館蔵品を中心とした企画展を実施した。11月から12月にかけて実施した企画展「水郷を詠む」は令和元年度に寄贈があった鹿島神社文学苑の句碑の元となった俳人直筆の掛軸24点を公開したもので、感染状況が落ち着いていた期間でもあったことから、比較的多くの方が来館され好評を得た。制限がある中でも企画次第で充実した展示ができるという手ごたえを感じたものであった。

今後も状況に応じて効果的な企画を実施していきたい。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

令和2年度においては、文化財保存活用地域計画作成事業に伴い、関係資料の調査を行った。

[点検・評価]

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

「歴史民俗資料館年報第41冊」発刊

② おうちミュージアムの開設

おうちミュージアムは、令和2年3月に全国の学校等が休校になったことから、子どもたちが家でも楽しく学べるようにと、北海道博物館が取り組み始めたもので、主旨に賛同した博物館や資料館がホームページ上で学習に役立つクイズやパズルなどを公開している。蟹江町歴史民俗資料館では令和2年5月から開設し、約2カ月に1回のペースで更新している。令和2年度に実施した内容は次の通り。

- ・むかしの教科書を読んでみよう！
- ・須成祭について学ぼう！
- ・蟹江町出身の探偵小説家・小酒井不木について知ろう！
- ・昔の道具を学ぼう！
- ・昔の道具を学ぼう！その2
- ・絵はがきでみる蟹江町

- ③ 関連機関発行の印刷物等への情報提供
新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報第41冊については、県内の各市町村教育委員会及び博物館等の関係機関に寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行っている。おうちミュージアムは、おうち時間を有効に過ごす取り組みとして始まったものであるが、インターネットで資料館の資料や蟹江町の歴史文化を発信できる取り組みとしても有効であると感じている。さらに内容を充実させるとともに、これを機に資料のデジタルデータ化や情報発信も加速させていきたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	7回(8)	30人	30人
「かにえ地域学」講座	5回(6)	30人	19人
環境学習 エコきつず調査隊	0回(4)	—	—
須成祭マイスター養成講座	0回(5)	—	—
郷土体験学習会	1回(4)	18人	24人
海部歴史講演会	1回(1)	100人	93人
歴史講演会	1回	180人	69人

※開催数の（ ）内は当初予定していた回数。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施中止や回数を減らして実施した講座が多かった。

② 出前講座

町民に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が地域に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	団体名等	内容	人数
令和2年9月3日(木)	蟹江町社会福祉協議会	蟹江町の歴史遺産と文化財	20人

③ 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	学校	内容
令和2年12月2日(水)	舟入小学校	昔のくらし道具① 昔の道具

令和2年12月4日(金)	舟入小学校	須成祭について
令和2年12月8日(火)	須西小学校	蟹江の歴史とまちのうつりかわりについて
令和2年12月15日(木)	舟入小学校	蟹江のまちのうつりかわりについて
令和3年3月16日(火)	須西小学校	昔の遊びと行事

④ 博物館実習

博物館学芸員資格取得を目指す実習生の受け入れを行った。

- ・実施期間 令和2年9月9日(水)～9月13日(日) 5日間
- ・受入人数 1人

〔点検・評価〕

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、中止や回数を減らした講座もあったが、対策をとりながら実施できた講座については、抽選を行ったものもあり、関心の高さを感じた。歴史講演会については令和元年度中止となった小酒井不木をテーマにした講演会を拡大した形で再調整して実施し、反響をいただいた。また、出前講座の申し込みは少なかった一方で、出前授業については、社会見学や地元の方とふれあう授業等が行えない中で、資料館の出前授業でそれをカバーしたいという要望もあり、一定数の申し込みがあった。学校では歴史の学習に入る前に郷土の歴史を学習しておこうという取り組みもあった。郷土の歴史文化への関心は高まっており、今後も様々なニーズに応えられるよう努力を続けていきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議会の開催状況

文化財保護審議会の構成

- ・会議の種類 不定期（審議すべき事案がある時に開催）
- ・構成員 文化財保護審議会委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、主任学芸員、学芸員

② 会議の運営状況

令和2年度における蟹江町文化財保護審議会の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
令和2年 11月20日(金)	【議題】 1 会長の選出について 2 令和2年度の文化財保護事業について 3 蟹江町文化財保存活用地域計画作成について

(2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め4事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め5件

町費補助額：3,407,000円

(3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。なお、令和2年4～5月、令和3年1～2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年8月は猛暑のため、公開を中止した。

(5) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の啓発活動を実施した。

(6) 文化財保存活用地域計画作成事業

平成31年4月に改正された文化財保護法に基づき、町内にある無指定を含めたさまざまな文化財を中・長期的な観点からどのように保存・活用していくのかを明確にする計画書を作成するための事業。令和2年度は3カ年で行う事業の1年目として取り組み、実施した内容は以下のとおり。

① 事前把握

蟹江町史など文献や総合計画など参考となる資料を確認し、計画作成のための方向性を見極めた。

② 調査と文化財リストの作成

文献から文化財の情報を抽出するとともに、石碑などの現地調査を行い、379件におよぶ文化財をリストアップした。

③ アンケートの実施

蟹江町の文化財の保存活用に関することについて、無作為抽出した一般町民3,000人と町内の小学校6年生、中学校2年生を対象にアンケートを実施した。

④ 蟹江町文化財保存活用地域計画作成協議会の開催

・文化財保護審議会の構成

会議の種類 不定期（令和2年度は年3回）

構成員 学識経験者、観光協会会長、商工会会長、文化財所有者、ガイドボランティア代表、観光交流センター管理者、

愛知県民文化局文化芸術課文化財室室長補佐、
 教育長、教育部次長、政策推進室長、ふるさと振興課長、
 生涯学習課長、主任学芸員、学芸員

・会議の運営状況

令和2年度における活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
令和2年 12月11日(金)	【議題】 1 会長の選出について 2 文化財保存活用地域計画及び策定主旨について 3 蟹江町文化財保存活用地域計画作成について 4 蟹江町における歴史文化・文化財について
令和3年3月 (書面開催)	【議題】 1 文化財アンケート調査の結果報告(中間報告)について
令和3年 3月23日(火)	【議題】 1 蟹江町文化財保存活用地域計画作成事業に係る進捗状況について (1) 文化財アンケート調査の結果報告について (2) 蟹江町における文化財について 2 今後の蟹江町文化財保存活用地域計画作成事業について

⑤中間報告書の作成

令和2年度に実施した事業についてまとめ、中間報告書を作成した。

〔点検・評価〕

令和2年度から蟹江町文化財保存活用地域計画作成事業に取り組むこととなり、その1年目として文化財の把握調査やアンケート調査を行った。アンケート調査では一般町民1,079人、小学生308人、中学生289人から回答があり、町民61.5%、小学生60.4%、中学生51.5%が歴史・文化に関心があると答え、半数以上の方々が関心を持っていることが分かった。中には厳しい意見もあったが、文化財についてもっと知ってみようという意見もあり、その点では有意義であったと感じた。今後調査の結果をふまえ、協議会の委員の意見を聞きながら計画作成を進めたい。

文化財保護等補助事業では、多くの祭りが中止となり、補助金申請団体も少なかった。祭りや芸能の伝承への課題が大きくなっており、これからも地域の声を聴きながら対応したい。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

各種スポーツ教室

令和元年度より、生き生きかにえスポーツクラブに事業委託し、町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
美・Bodyエクササイズ	5回	40人	延42人	蟹江町体育館
スナッグゴルフ教室	2回	各回20組	延9人	蟹江町体育館
ナイトヨガ教室	春3回 秋5回	春 40人 秋 40人	延30人	中央公民館分館
なわとび教室	1回 (2部制)	各回30人	延86人	蟹江町体育館

〔点検・評価〕

令和2年度の生涯スポーツ事業としては、令和元年度と同様に、生き生きかにえスポーツクラブに4事業委託した。新型コロナウイルス感染症の影響を受け実施回数や参加人数が減少となった。今後も相互の連携向上を図りつつ、住民ニーズを把握しながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

- ① スポーツ推進委員 任期 令和2年度・令和3年度 18人
- ② 地区スポーツ協力員 任期 令和3年度・令和4年度 42人
- ③ 各種講習会
 - ・指導者研修会—中止
 - ・スポーツ推進委員各種研修会—中止

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が参加する各種研修会が、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け中止となってしまったが、これからも積極的に研修会へ参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、スポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。よって、相互が連携し各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得。

- ・役員 理事 4人 監事 1人
- ・会員数 326人

- ・講座数 通常講座 15講座 特別短期 6講座
- ・交付金等 交付金 1,500,000円

② 蟹江町スポーツ協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

- ・16団体 1,126人 補助金 2,306,400円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・育成する。

- ・16単位団 団員508人 指導者125人 補助金731,450円

〔点検・評価〕

総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」は令和元年度に設立10周年を迎えた。

これを機に町からの交付金を50万円減額した。運営については、会員数の横ばい傾向を解消できるよう工夫し、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開しているところである。

また、スポーツ協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務などを生涯学習課から移譲することが課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① スポーツまつり

気軽に楽しむことができるスポーツを通して、家族間、友人間の親睦を図るとともに、個人の健康維持を保つ目的で開催した。

- ・開催日 ~~令和2年11月1日(日)~~ 中止
- ・開催場所 日光川ウォーターパーク

② 第41回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。

- ・開催日 ~~令和3年1月24日(日)~~ 中止
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺

③ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 ~~令和2年6月7日(日)~~ 中止
- ・開催日 ~~令和2年11月14日(土)~~ 中止

④ 愛知万博メモリアル第15回愛知縣市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・開催日 ~~令和2年12月5日(土)~~ 中止
- ・開催場所 ~~愛・地球博記念公園~~

〔点検・評価〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、町や県の企画する大会等が中止となってしまったが、町内をウォーキングする方も例年より多く見られ、住民の健康への関心は高いと言える。

スポーツまつりについては、誰でも楽しめ、また参加したいと思う内容で実施していきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 3人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 2人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町スポーツ協会などの実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 5月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

女性教育研修会 中止

〔点検・評価〕

県主催による女性の地位向上に向けた研修事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった。

これからも政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、資質向上を図る研修事業などへの参加を求めていく。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

- ① 産業文化会館防犯設備改修工事およびエレベーター改修工事並びに中央公民館分館照明設備改修工事を実施した。

産業文化会館防犯設備改修工事	2,696,980円
産業文化会館エレベーター改修工事	18,590,000円
蟹江中央公民館分館照明設備改修工事	693,000円

- ② 生涯学習施設に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として休館等の措置を行った。

- ③ 町内の小・中学校の屋内（学校体育施設）に関しては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として開放をしなかった。屋外施設については、使用不可期間もあったが、利用制限等を行いながら町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。

〔点検・評価〕

中央公民館分館については、防犯設備、エレベーター、照明設備の改修を行うことによって、以前より安全・快適に施設を利用していただけになった。

また、生涯学習施設は全体的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要であるため今後、改修計画などを立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。